



平成30年 4月25日

各 位

会社名 ダイダン株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 藤澤 一郎
(コード番号：1980 東証第一部)
問合せ先 執行役員業務本部長 亀井保男
TEL 06(6447)8000

「中期経営計画」の策定に関するお知らせ
— 「技術力で挑戦し、未来を創造するダイダン」 —

ダイダンは、平成30年度を初年度とする中期経営計画「技術力で挑戦し、未来を創造するダイダン」を策定しましたのでお知らせいたします。

当社は、平成28年度に策定した3カ年の中期経営計画を、平成35年の創業120周年を見据えた長期ビジョンを実現するための基盤強化と事業領域の拡大に向けた第1ステップとして位置づけ、経営の改革を進めてまいりました。

その一環として、ZEB、再生医療、IoTを三本柱とした従来の建築設備の枠にとられない新たな領域に挑戦し、少しずつ成果が出てきています。

平成30年度は、本来、中期経営計画の最終年度にあたりますが、今回、平成30年4月の藤澤一郎の社長就任による新体制スタートの節目であることと、急激に進化する技術革新にともなう事業環境の変化に迅速に対応するため、新たな戦略・施策を盛り込んだ中期経営計画を策定したものです。

新しい中期経営計画は、平成30年度から平成32年度までの創業120周年を見据えた3カ年ビジョンとして「『攻める力』と『支える力』で、希望と魅力あふれるダイダンを築く」をキャッチフレーズに定め、戦略・施策をまとめました。

国内の建設業界を取り巻く環境は、東京オリンピック・パラリンピックをピークに、低成長になることが予想されます。また、時代の変化とともに顧客や社会が求める環境が大きく変化し、求められる技術も高度化と専門化が進んでいます。

当社は、これからの厳しい環境を生き抜いていくため、今回の中期経営計画の戦略・施策を確実に実行してまいりますので、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上

中期経営計画

2018年4月～2021年3月

技術力で挑戦し、未来を創造するダイダン

1. 経営理念

総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する。

2. 経営方針

- ① 顧客第一の理念を通じて経営環境の変化に対応する。
- ② コンプライアンスの精神に則った企業経営を行う。
- ③ 安全・品質の確保と環境保全に貢献する企業活動を行う。
- ④ 各戦略・各施策の相互連携により企業目標を達成する。

3. 創業120周年を見据えた3カ年ビジョン

『攻める力』と『支える力』で、希望と魅力あふれるダイダンを築く

《攻める力》オールダイダンの総合力と未来を切り拓く技術力で、お客様とより良い環境を創造するパートナーとなる

【競争力】お客様から選ばれ続ける企業

【成長力】新たな事業領域への挑戦

《支える力》経営資源を最大限に活用し、社会性と収益力を兼ね備えた企業として未来社会の発展に貢献する

【経営基盤】変化に対応できる経営基盤の確立

【企業責任】社会から信頼される企業

4. 収益目標と目標とする経営指標

本中期経営計画の最終年度（平成32年度－第92期）の収益目標

	連結	個別
受注工事高	1,510億円	1,500億円
完成工事高	1,510億円	1,500億円
営業利益	80億円	80億円

目標とする経営指標は以下のとおりとする。

営業利益率＝5.3%

5. 戦略および施策

【競争力】 お客様から選ばれ続ける企業

戦略1 現場力の強化

- ① 現場支援体制の確立
- ② 技術力向上への取り組み強化
- ③ i-Construction推進による生産性向上への取り組み

戦略2 先進技術の提案力強化

- ① 次世代ZEBの発信
- ② 顧客ニーズに応えるための技術基盤構築
- ③ IoEとの融合に向けた自動制御技術力の強化

戦略3 営業力の強化

- ① 顧客対応力の強化
- ② 戦略的な営業活動の推進

【成長力】 新たな事業領域への挑戦

戦略1 新たな事業への取り組み

- ① 事業戦略の推進
- ② 次世代環境の創造と技術開発

戦略2 総合設備業の特徴を生かした事業領域の拡大

- ① 再生医療分野における異業種連携の推進
- ② ストック&リノベーション社会への対応

【経営基盤】 変化に対応できる経営基盤の確立

戦略1 市場変化に左右されない強固な体制の確立

- ① 市場変化に対応できる組織の構築
- ② 海外事業の再構築
- ③ 協力会社との共栄

戦略2 従業員満足度の向上

- ① 実感ある働き方改革の推進
- ② 人材確保に向けた取り組み強化
- ③ 情報発信による企業イメージの向上

戦略3 資本・財務基盤の強化

- ① 資本施策によるステークホルダーとの関係構築
- ② 強固な財務基盤を活用した投資の検討

【企業責任】 社会から信頼される企業

戦略1 コンプライアンス経営の継続的推進とガバナンス強化

- ① 公正で適正な取引を徹底するためのガバナンス強化と教育の継続
- ② 積極的な情報の適時開示（ディスクロージャー）

戦略2 企業市民としての社会貢献活動の推進

社会貢献活動の推進

- ① 建築設備業の発展に寄与する社外活動の推進

戦略3 持続可能な社会の実現

- ① 持続可能な社会の実現に向けた環境経営の推進

この開示における将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいています。このため、実際の業績と異なったり、予告なしに変更する可能性があります。

【経営理念】

総合設備工事業者として常に新たな価値の創造に挑戦し、より良い地球環境の実現と社会の発展に貢献する

【経営方針】

- ① 顧客第一の理念を通じて経営環境の変化に対応する
- ② コンプライアンスの精神に則った企業経営を行う
- ③ 安全・品質の確保と環境保全に貢献する企業活動を行う
- ④ 各戦略・各施策の相互連携により企業目標を達成する

【収益目標】

	2021年3月期(第92期)	
	連結	個別
受注工事高	1,510億円	1,500億円
完成工事高	1,510億円	1,500億円
営業利益	80億円	80億円

【経営指標】 営業利益率:5.3%

(2023年)
創業120周年を見据えた3カ年計画のビジョン

『攻める力』と『支える力』で、希望と魅力あふれるダイダンを築く

《攻める力》オールダイダンの総合力と未来を切り拓く技術力で、お客様とより良い環境を創造するパートナーとなる

競争力

お客様から選ばれ
続ける企業

戦略1 現場力の強化

- ① 現場支援体制の確立
- ② 技術力向上への取り組み強化
- ③ i-Construction推進による生産性向上への取り組み

戦略2 先進技術の提案力強化

- ① 次世代ZEBの発信
- ② 顧客ニーズに応えるための技術基盤構築
- ③ IoTとの融合に向けた自動制御技術力の強化

戦略3 営業力の強化

- ① 顧客対応力の強化
- ② 組織的な営業活動の推進

成長力

新たな事業領域への挑戦

戦略1 新たな事業への取り組み

- ① 戦略的な事業計画の推進
- ② 次世代環境の創造と技術開発

戦略2 総合設備業の特徴を生かした事業領域の拡大

- ① 再生医療分野における異業種連携の推進
- ② スtock&リノベーション型社会への対応

《支える力》経営資源を最大限に活用し、社会性と収益力を兼ね備えた企業として未来社会の発展に貢献する

経営基盤

変化に対応できる
経営基盤の確立

戦略1 変化に左右されない強固な体制の確立

- ① 市場変化に対応できる組織の構築
- ② 海外事業の再構築
- ③ 協力会社との共栄

戦略2 従業員満足度の向上

- ① 実感ある働き方改革の推進
- ② 人材確保に向けた取り組み強化
- ③ 情報発信による企業イメージの向上

戦略3 資本・財務基盤の活用

- ① 資本施策によるステークホルダーとの関係構築
- ② 成長分野への投資の検討

企業責任

社会から信頼される企業

戦略1 コンプライアンス経営の継続的推進とガバナンス強化

- ① 公正で適正な取引を徹底するためのガバナンス強化と教育の継続
- ② 積極的な情報のディスクロージャー

戦略2 企業市民としての環境・社会貢献への取り組み

- ① 環境・社会貢献活動の推進
- ② 建築設備業の発展に寄与する社外活動の推進

戦略3 持続可能な社会の実現

- ① SDGsを意識した環境経営の推進
- ② ESG投資で評価されるための情報開示

攻める力

支える力